

研修会名：最新のエビデンスを明日からの臨床につなげる
(徒手理学療法)

<研修概要>

日 時： 2019年5月25日(土)
時 間： 研修2 14:00~17:00
会 場： 徳島文理大学 23号館 203教室

大会参加費のみ

研修形態	講義のみ		
予約申し込み	不要	予約定員	0人
予約費用	0円		
無料聴講	あり	聴講定員	140人

講 師： 高崎 博司 氏 (埼玉県立大学)

<研修内容>

徒手療法とは、『神経筋骨格系のコンディションに対する、臨床推論・卓越した徒手的技术や運動指導を含む理学療法の専門分野であり、科学的また臨床的根拠や心理社会的枠組みに基づいて、患者ひとりひとり個別に行うもの』と定義されている。

近年、国際的には徒手療法という表現を改め、筋骨格系理学療法とする動きがある。これは、筋骨格系疾患を有する患者を対象とする場合、徒手療法は「特別なもの・能力」ではなく、「誰もが当然できなければならないこと」と変化することであり、科学的な根拠に基づいていなければならない。これまでの様々な科学的検証の結果、筋骨格系理学療法はパラダイムシフトを迎えたと言って過言ではない。本研修では、このパラダイムシフトを中心に近年の筋骨格系理学療法の国際的な潮流を整理する。